

<名古屋経営短期大学 様>

上映日:2017/11/11(土) 場所:名古屋経営短期大学 大ホール(愛知県尾張旭市)



会場の様子

共感を覚えてもらうには映画が一番だと思いました

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

11月11日の「介護の日」イベントに、学生及び地域の方々へ介護の魅力や奥深さを知っていただくためにふさわしい映画として選定しました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

学科内の教員8名です。

●資金はどのように捻出しましたか？

毎年、愛知県介護人材普及啓発事業として県の助成金を受けており、年度初めに映画上映を想定して予算を申請しました。

●地域へどのように告知をしましたか？

学校のホームページや地元自治体関係各所、本学科関係福祉施設等に掲示を依頼し、学内外に告知しました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

当日は、本学1・2年生49名＋姉妹校(高校生・教員)94名＋その他15名=158名の参加がありました。

本学の学生及び高校生は、福祉について学んでいるため大変リアルな現実として受け止めたようです。

また、一様に感動したとの感想が寄せられ、相手を想うことの大切さやそこから得られる喜びを感じたと思われます。学生にとってはその後の実習に活かされたと考えます。

最後の方の場面で泣けた人が多く、やはり共感を覚えてもらうには映画が一番だと思いました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

介護とは奥深い人間ドラマです。この映画を通じて、多くの人に介護を身近に感じてもらえるようになることを期待します。



上映と同時に山国プロデューサーの講演会も実施。「ケアニン」の誕生秘話や映画製作に込めた思いなどを話していただきました。

ご担当者:
名古屋経営短期大学
上田 智子さん